

Tokyo Fureai Medical Coop  
**東京ふれあい医療生協**

LINE公式アカウント  
登録をお願いします!  
http://www.fureaico-op.info  
配布停止は4面をご覧ください

# 生命の炎

いのち

2023年11月号 No.526

生協の現況(2023年9月現在)

組合員数=15,451名  
出資金総額=440,376千円

●発行所:東京ふれあい医療生活協同組合  
〒114-0004  
東京都北区堀船3-27-12  
電話 (03)3911-3630

●編集:『生命の炎』編集委員会  
●発行人:百瀬 文也

## オールふれあい生協仲間づくり月間

### キックオフ集会が開催されました!!

9月30日(土)、昭和三町ふれあい館にて「オールふれあい生協仲間づくり月間」のキックオフ集会が開催されました。

講師には社会福祉を専門とし、医療生協について研究をしている「大阪大学大学院人間科学研究科 齊藤弥生教授」がいらして下さり、「協同組合が提供する医療・介護の質～組合員参加が事業の質を高める～」をテーマに講演していただきました。

高福祉高負担とされるスウェーデンという国と日本の医療の状況とを対比させながら、医療生協という仕組みにどのような可能性があるのかを分かりやすく解説していただきました。

日本の医療生協の歴史や特殊性、また高齢者を対象とした意識調査などのデータを並べながら、日本の地域包括ケアシステムに求め

られる「互助」という考え方を体現する、医療生協の仕組みについても学びました。

「専門職」(医師、看護師、介護士)と「利用者・地域住民」が対等な立場で成り立つ協同組合は日本特有です。

受講者からは、「普段意識してこなかった自分たちの活動の意義に気づくことができた」「自信を持って医療生協を勧められる」「とてもわかりやすかった」などなど好評でした。

また、今回は受講者からの講義の感想や質問を元に、齊藤弥生先生と野島理事長のトークセッションを行いました。受講者からも手が上がり質問や感想が飛び出すなど、ライブ感のある集会となりました。



講師の齊藤弥生先生

参加された方々は真剣に耳を傾けていました

野島理事長(左)とのトークセッションも行われました

## 開催します! 2023健康まつり

開催日時 11月12日(日) 午前10時～午後2時

会場 日本製紙物流(株)構内  
【(株)読売プリントメディア・(株)日刊スポーツPRESS】

お問い合わせ ふれあい活動推進部・一石 03-3911-2005  
ふれあい活動推進部事務所:北区堀船3-27-12  
(営業時間:平日午前9時～午後4時30分)

菓子販売・青果販売・花販売 etc...  
子ども向けゲーム多数!



焼き鳥・ローストビーフバーガー・ポップコーン・レモネードスタンド  
芋煮・みそおでん・フランク焼きそば・みたらし団子 etc...

**フリーマーケット出店者・お手伝い募集中!**  
詳しくは上記お問い合わせ先までお願いいたします。

### 聴診器

新型コロナウイルスが世界中に広がって以来、感染症に対する認識が大きく変わりました。感染症は誰にでも影響を与える可能性があり、特に高齢者や持病を持つ方々は重症化のリスクが高いことから早期の治療が必要で、家族の間でも感染させないように気を付けるようになりました。

今年5月には新型コロナウイルス感染症がら類となりましたが、それでも未だ診療所では数多くの感染が確認され続けています。また、今年度は新型コロナウイルス感染症だけでなく、この間影を潜めていたインフルエンザもまた患者数が増加しており、大きな健康リスクとなっています。

新型コロナウイルス感染症がそうであったように、インフルエンザの予防にもワクチンが効果的です。特に高齢者や持病のある方々にとって、ワクチン接種は重症化を防ぐ重要な手段です。私たちの診療所では、毎年インフルエンザのワクチン接種を行っていますのでぜひご利用ください。

また、風邪症状が出た場合は、診断と適切な治療が大切です。インフルエンザは季節性であるため、毎年冬に流行する傾向があります。新型コロナウイルス感染症は、もちろんインフルエンザも私たちが日常で直面する感染症の一つです。予防から対応まで、一人一人がしっかりと知識と行動で、そのリスクを最小限に抑えましょう。

(もも)

### 植物紹介②6

#### ヤハズソウ (マメ科)

葉の先端を引っ張ると矢の形に千切れるから、ヤハズソウという。(中谷)

### キッズメデイカル vol.122

#### アトピー性皮膚炎の新しい軟膏

「手足がかゆい、湿疹を掻いて浸出液が出てきた」などアトピー性皮膚炎のステロイド治療により、きれいになった皮膚が再び悪化することがあります。

まだ炎症が残っているのに、ステロイド軟膏の塗布を中止することによる炎症のぶり返し現象です。ステロイドの寛解維持療法が十分に行われていないと思われれます。もう治ったと安心して治療を中止するか、ステロイドを長く使いたくないと考え中止するかによるものです。

最近アトピー性皮膚炎ステロイド治療後の抗炎症作用を強化するために、新薬の非ステロイド剤が開発されました。

副作用が少なく、アトピー性皮膚炎も悪化しないため注目されています。アトピー性皮膚炎で悩んでいる方、ぜひ相談してください。(倉信)

### 各診療所医師の休診のお知らせ(11/1~1/15)

各診療所12月29日午後~1月3日は休診になります。

梶原診療所 (外来の休診は通常通り)	
本池 医師	11/18(土)
堀内 医師	11/4(土)、11/18(土)、12/16(土)
川口 医師	11/11(土)、12/9(土)
堀 医師	11/20(月)
石川 医師	11/2(木)
宮の前診療所	
11/16(木)PM休診	
12/29(金)AM通常診療、PM荒川区休日当番医	
ふれあいファミリークリニック	
外来休診	11/1(水)PM

### 組合員かわら版



### 内覧会のご案内

都営さくらトラム(都電)「梶原」電停前に現在建設中の「ふれあいセンタービル」(旧梶原診療所)が竣工間近となり、12月18日より業務を開始いたします。

それに伴い、日頃からご愛顧いただいている組合員の皆様、ご近所の皆様に、ぜひ、ふれあいセンタービルをご覧いただきたく、下記日程で内覧会を開催いたします。

日時 令和5年12月15日(金)13時~16時

#### 2023年度 理事会から

- 1. 経営状況** 2023年8月 総収益 1億1,363万円  
 医業原価 703万円  
 その他経費 1億949万円  
 医業外損益 35万円  
 経常剰余 ▲254万円
- 2. 生協ビルについて** 現在予定通り経過しています。12月18日には一部事業を稼働する予定としています。
- 3. オールふれあい生協仲間づくり月間** 仲間づくり月間では様々な生協活動を予定しています。11月12日にはコロナ以降はじめて、0の健康まつりも開催予定にしています。
- 4. 他生協交流** 運営支援を行うアトピー性皮膚炎生協と相互交流を実施しています。長期的に医療生協のものを未来につなげていくための生協のあり方について理事会間での協議を行っています。

各事業、経営改善をすすめており、厳しい状況であるものの赤字構造は改善しつつあります。今後も全事業の収益構造見直し・経費見直しを実施しています。

### 機関紙の電子化について

生命の炎の電子化を積極的に推進しております。紙の機関紙送付が不要になった場合は下記連絡先までご連絡ください。QRコードからメールアドレス読み込み可能です。メールの場合は、●氏名 ●組合員番号(わかれば) ●生年月日 ●住所を記載してください。メール宛先 ichishi@fureaico-op.com ふれあい活動推進部:03-3911-2005(受付時間午前10時~午後5時)

次号の機関紙「生命の炎」は、2023年12月と2024年1月の合併号のため2024年1月4日発行になります。よろしく願いたします。

ご意見・ご質問・紹介したい記事などございましたらお気軽にお寄せください。

宛先 東京ふれあい医療生活協同組合 機関紙編集委員会  
〒114-0004 北区堀船3-27-12

TEL 03-3911-2005 FAX 03-5944-6015

MAIL soshiki@fureaico-op.com

メ 切 前月の第1月曜日まで。

(1月号に掲載したい場合、12月の第1月曜日までに原稿を送ってください。)\*必ず原稿を送る方の名前、住所、連絡の取りやすい電話番号を記載してください。

# 知って得する 紙上「健康づくり講座」 第22講

## 認知症の方の生きている世界を知ろう

看護部長・ふれあい訪問看護ステーション所長 小暮 和歌子



### 「認知症」への名称変更

認知症という病名は今は定着していますが、昔は「痴呆」と呼ばれていました。明治末期に「痴呆」が定着しました。しかし、「痴」には、おろか、くる、「呆」には、ぼんやり、魂の抜けたなどの意味がありました。その侮辱的な表現から2004年に国が「認知症」と変更しました。「認知症」に変更されてからまだ20年経っていません。

ではこの20年で、認知症に対する理解が深まっているでしょうか?85歳以上で認知症と診断される方は55.5%います。診断もされるようになり有病率も高くなっています。薬も発明され治療薬ができました。当生協では梶原診療所からオレンジほっとクリニックへ発展し認知症診断から治療、そして地域へつなげる役割を担うようになりました。

でも、どうでしょうか、認知症という病気を知れば知るほど、「怖い」「なりたくない」と思うようになっていないでしょうか?ガンと告知されるより、認知症と告知されるほうがショックが大きいと聞きます。どうしてなのでしょう?

治らないから?周りに迷惑をかけてしまうから?何もわからなくなってしまうから?こんなに認知症が身近になったのに、今なお偏見に満ち溢れていることに愕然とします。

### まずは知ろうとしてみませんか?

認知症は誰でもなる可能性がある脳の病気です。認知症について学ぶ機会はあるでしょう。でも実際に認知症になってしまった方の現状は昔とあまり変わりません。認知症かどうかのチェックリストや予防は、たくさん取り上げられています。しかし、認知症になってしまった方々が、どんな世界を生きているかを知る機会は非常に少ないです。その世界を知ることこそが、認知症のケアに繋がります。街づくりに繋がります。医療者でなくても知る機会があるのでお知らせします。

ご存知ですか?「認知症世界の歩き方」という本を。それを読むだけでも認知症の方がどんな世界で今生きているかが分かります。その背景にある理由が分かれば、対応の仕方は変わります。そうすることで、認知症とともにこの地域で暮らして行くことができます。7、8、9月号で田邊先生の「知って得する第20講」でも伝えていた「つながる」ためには、認知症の世界を知っておくとより繋がります。

自分もなるかもしれない認知症の世界へようこそ。  
詳しくは12月開催予定の健康づくり講座で!



『認知症世界の歩き方』 寛 裕介(著) ライツ社



### 認知症人口と高齢者(65歳以上)人口に占める割合

年	認知症患者の推定数(万人)	認知症患者の推定有病率(%)
2012年	462	15
2015年	525	15.5
2020年	631	17.5
2025年	730	20
2030年	830	22.5
2035年	920	24.6
2040年	953	24.6
2045年	966	25.1
2050年	1016	27
2055年	1086	30
2060年	1154	33.3

認知症患者数と有病率の将来推移(各年齢層の認知症有病率が2012年以降も上昇すると仮定した場合)  
出典:日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業)  
URL:https://mhiv-grants.niph.go.jp/system/files/2014/141031/201405037A\_upload/



### まずはづくり委員会

名前から「まち」を作っていくイメージを抱かれるかもしれませんが、実は私たちが抱えている問題は、地域全体が抱えている問題です。地域全体で取り組む必要があります。

また、町会などの地域団体や自治体、社会福祉協議会、地域包括支援センターやNPOなど生協外部の団体や個人とのネットワークを重視し、連携・協力を図ることで、少しでもみなさんのより豊かな暮らしづくりのお手伝いができるようになればと考えています。

当委員会は、協同組合の理念や仕組みを大切にしながら、生協の利益を最優先に考え、組織の屋台骨を支える取り組みを進めていきます。

とりわけ、毎年秋には出資拡大行動を実施しております。今年は12月にふれあいセンタービルが竣工し、みなさんで集えるスペースができますので、一年に一度は増資を合言葉に、みなさまのサポートをよろしくお願いいたします。

### 利用委員会

医療福祉生協連に加盟する多くの医療機関が、利用委員会活動を実践しています。一般の医療機関にはない機能です。利用委員会は通院者と医療機関の職員が協同で問題解決を図る委員会です。

当生協での主な活動は、診療所の投書箱に寄せられた意見や苦情を討議して問題解決を図ったり、診療所内を定期的に点検して環境整備に努めています。通院者からの率直な意見や苦情に耳を傾けることは、とても重要なことであり、組合員の医療への主体的な参画が事業の質向上につながります。現在は、梶原診療所が毎月2回(運営委員会・全体定例会)開催しています。そのほかの診療所は、苦情などの問題が発生すれば、随時、個別に対応していきます。

## 「班会」おじやまします!

### 第2回 さくらサロン 宮の前

現在活動している班会におじやまして「参加してみたいけど、どんな人が参加しているの?持ち物は?会費は?場所?日時?誰に聞いていいのかわからない!」そんな疑問をお聞きします。

※班は組合員3人以上でつくることができ、医療・福祉についてもスタッフなどから直接学ぶことができます。

第2回の今回は、宮の前診療所2階で行われている「さくらサロン」の前におじやました。開始当初から活動している野島美幸理事長に話をお伺いしました。

Qーどんな班会ですか?  
Aー荒川区社会福祉協議会主催の「ふれあい絆・活(いきいき)サロン」の一つとして、2011年2月にスタートしました。活動内容は、おしゃべりしたり、懐かしい歌を合唱したり、ときには体操やゲームを楽しみながら交流する場です。

活動は西尾久1・2・3丁目同4・5・6丁目・東尾久の3支部で協力して行っています。コロナ禍による休止を経て、2022年6月から再開しました。

コロナ禍以前は、歌唱やお茶とお菓子を囲んで皆さんでおしゃべりを楽しみました。

Qー「コロナ禍」という活動をしていましたか?  
Aーマスク着用に加え、間隔を空けての着席で人数制限も必要となり、感染予防を図りながらの実施を余儀なくされました。人気の「歌声サロン」の回は尾久ふれあい館の調理実習室に会場を変更して、10名を超えても安心して集まれるようになりました。

また、脳トレやストレッチ体操など、声を出さなくても可能な内容にしたり、お正月には故郷のおせち談義を交わしたのを我慢して、1人ずつ順に話していただいたこともあります。

Qーこれからの思いを聞かせてください  
Aーサロンでは皆さんでおしゃべりすることが一番の楽しみですし、目的でもありません。向き合っていて心おきなく話せる「さくらサロン」に戻れる日を待ちつつ工夫しながら続けていこうと思っています。

2018年の活動。お菓子を食べて話をしたり、七夕やひな祭りもやっていました

現在:まだまだ元には戻っておらず、体操や脳トレを行っています

### さくらサロン 詳細

日 時 / 毎月第3水曜日 14:00~15:00(8月はお休み)

場 所 / 宮の前診療所2階さくらの部屋

会 費 / 無料

申 込 先 / 事前申し込み不要

備 考 / 感染予防のため、定員10名

## 委員会紹介 後編

### 委員会紹介 後編

生協として地域活動を行う上で、委員会はとても重要になってきます。当生協には、理事会委員会として「組織・組合員活動委員会」「健康づくり委員会」「組合員ヘタリタイムリーな情報発信を行うための機関紙編集委員会」の5つの委員会があります。前号に引き続きその活動を紹介します。

#### 組織・組合員活動委員会

生協の組織基盤である組合員や出資金の拡大・管理をはじめ、支部や班、サークルなどの地域コミュニティに貢献し活動を充実させていくことで、組合員の健康づくりやまちづくりにつながる役割を担っています。

また、町会などの地域団体や自治体、社会福祉協議会、地域包括支援センターやNPOなど生協外部の団体や個人とのネットワークを重視し、連携・協力を図ることで、少しでもみなさんのより豊かな暮らしづくりのお手伝いができるようになればと考えています。

当委員会は、協同組合の理念や仕組みを大切にしながら、生協の利益を最優先に考え、組織の屋台骨を支える取り組みを進めていきます。

とりわけ、毎年秋には出資拡大行動を実施しております。今年は12月にふれあいセンタービルが竣工し、みなさんで集えるスペースができますので、一年に一度は増資を合言葉に、みなさまのサポートをよろしくお願いいたします。

## 梶原商店街「愛宕地蔵尊祭り」

10月3日(火)の15時から、梶原商店街の愛宕地蔵尊祭りが行われました。愛宕地蔵尊は梶原診療所のすぐそばにあり、足を止めてお参りをしている方をよく目にします。

以前は、3のつく日は梶原商店街の縁日が行われていたが、これは愛宕地蔵尊に由来するものです。

愛宕とは、京都の西北にある愛宕山です。その頂上に朝日山白雲寺があり、ここに勝軍地蔵尊(戦勝・火防の地蔵)が本尊として祀られています。愛宕地蔵尊はその分身とされており、その尊王の命日である3の日に当たる3日・13日・23日に地蔵様をお祭りする縁日を開催していただきます。

今回のお祭りでは福性寺のご住職がお経を唱え、ご供養を行い、梶原商店街会長で都電もなか本舗 明美のまんじゅうがお供物として配られました。

福性寺の住職によるご供養

春日部ファームの山本さんが野菜の直売とともに焼き鳥の販売、当生協の「ふれあい」のわん芸のメンバーによる「3のつく日」を盛り上げようという趣旨のもと、ポップコーンの販売等をふれあい活動推進部(白組)の事務所前で行っていました。

春日部ファームの山本さん(右)による焼き鳥

都電もなか本舗 明美のまんじゅうがお供物として配られました